

## II 令和5年度 安城小学校の学校経営

### 1 学校経営の基盤

- (1) 地域とともにある地域に開かれた学校づくりの推進(創立149年目)  
安城小学校149年の伝統と校風の創造的継承を進めるとともに、開かれた学校づくりに努め、職員・保護者・地域住民の連携を密にした地域に根ざした特色ある教育を推進する。
- (2) 公教育の理念に立った教育の推進  
公教育の理念に基づき、日本国憲法、教育基本法等の諸法規を遵守し、日本国・鹿児島県・熊毛地区・西之表市の教育行政を踏まえ、世界的視野を備えた安城の子供や地域の実態に即した教育を推進する。
- (3) 生涯教育の基盤としての教育の推進  
人権尊重の精神や生涯学習の視点に立ち、子供一人一人の実態を的確にとらえるとともに、学校の課題を明確にして、職員協働のもと「生きる力、学びのその先」を考えた教育を推進する。

### 2 学校経営の方針(チーム安城による協働態勢)

合言葉 「わたしも大切 あなたも大切」で  
三つの大好き「自分大好き 友だち大好き 学校(地域)大好き」になる!

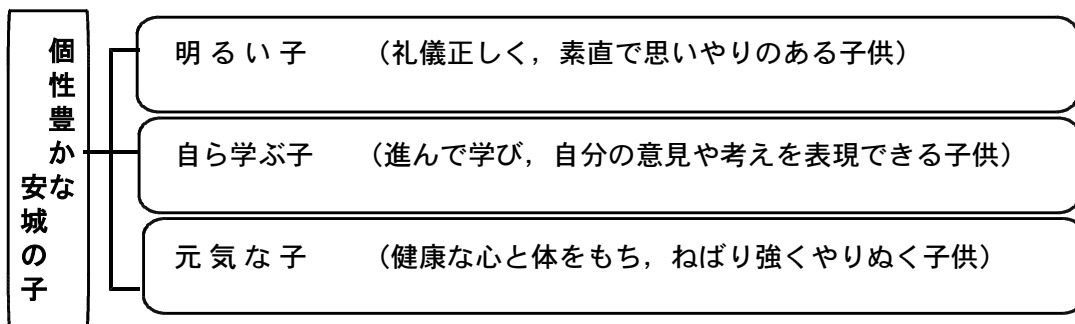
- (1) 教職員の基本姿勢「Mom」を大切にしたい人権尊重の精神に立つ安心で安全な学校づくり  
「こども基本法」の目的にある児童の権利に関する条約の精神を踏まえ、全教育活動を通じて「安心」「自信」「自由」が守られているかを検証軸とした取組を行う。
- (2) 心の教育と温かい信頼関係でつくる「安城思いやりの教育」  
子供、職員、保護者、地域住民が「安城思いやり」の心を大切にしたい人間的なふれあいを何よりも大切にしたい温かい信頼関係で結ばれ、感動的で心に深くしみいる豊かな情操教育を行う。
- (3) 子供たちの道徳的な感性を育てる道徳教育の推進  
人的・物的な美しい環境の保持・充実に努めることにより豊かな道徳的な感性を育むとともに、「子供自らが考え、議論したくなる授業づくり」を通して、問いと思考を中心とした「自問自答型道徳学習」を研究・実践し、豊かな道徳性を育む教育活動を展開する。
- (4) 学習者主体の授業を通じた深い学びの実現  
子供一人一人の実態把握と「聴く・考える・伝える」を大事にした伝え合い深め合う授業の充実を図る。
- (5) 子供一人一人の自尊感情と自己有用感を育む関わり  
子供たちのよさや可能性を最大限に発揮できるように温かさと厳しさの調和した指導を行う。その際、全教育活動を「共有体験」と「感情の共有」の視点から見つめ直した取組を丁寧に積み重ねさせることで、自尊感情を育成する。また、自己有用感の育成を通して一人一人が自己実現の喜びを味わえる教育活動を推進する。
- (6) 深い教育愛と使命感を大切にしたい研修の充実  
かけがえのない安城の子供たちとの出会いを大切に、西之表市の教育理念である「ひとりだちの教育」を大切にしながら「教えること」はきちんと教え、深い教育愛をもって子供たちの自立を目指した教育活動を推進する。

### 3 学校教育目標

#### (1) 学校教育目標

☆ 思いやりの心を持ち、堂々と生きる。

#### (2) めざす子供像



### (3) めざす学校像

#### ① 楽しい学校

一人一人の個性が生かされ、児童が主体的に楽しく活動する学校（認め合い、励まし合い）

#### ② 伸びゆく学校

教児一体となって、磨き合い伸びていく学校

（基礎・基本の定着と思考力「よく考える力」・判断力・表現力，学び方「学びに向かう力」の育成，心の教育の推進，伝統的行事の継承，一行事一改善）

#### ③ 美しい学校

教育環境がきめ細かく整備され，安全・安心で整然としてきれいな学校

（整理整頓，校内緑化，設営）

#### ④ 内にも外にも開かれた学校

（人材活用，「かごしまの教育」県民週間，しおさい留学・「孫もどし・親子留学」特認通学制度，ホームページ，ブログの充実，学校開放等）

### (4) 目指す教師像

#### ① 個を大切にし，伸ばす教師

#### ② 職責感のある教師

#### ③ 研鑽に励み，共に高め合う教師

#### ④ 共に汗を流し，率先垂範に努める教師

#### ⑤ 信頼され親しまれる教師

## 4 重点課題

### (1) 「信頼される学校づくり安城」

#### ① 全学年複数児童確保

- ・ 「地域とともにある学校」という考え方を大切に相互補完的な連携・協働を目指す。特に，区長，PTA会長，集落支援員との連携を深めながら児童数の確保に努める。
- ・ 西之表市の行っている「種子島しおさい留学」と連携し，里親の確保や親子留学受け入れのための住宅確保に努める。（関係機関，集落支援員，学校応援団等との連携）

#### ② 学力保障

- ・ 授業力向上を目指し，道徳科を中心とした職員研修の充実を図る。
- ・ 複式学習指導法の改善を目指した授業実践を進める。
- ・ 「学び続ける者だけが教える資格がある」ことを職員に自覚させ，管理職を含む教諭全員が個人テーマを持って年間の研修を行っていく。
- ・ 業務改善の視点からスピード感のある研修を重視し，担任会を中心とした「相互授業参観」の充実を図りながら主体的な研修を行う。
- ・ こだわりの視点(クリティカルシンキングの視点をもった熟考，思考の跡を可視化するノート指導)を活用した授業の充実を図る。

#### ③ 道徳科を核とした豊かな情操教育

- ・ 校区の方々が先祖代々美德としてきた「思いやりの精神」（カシミア号遭難の際の救出）を大切に，すべての教育活動を「思いやり」でつなぐ道徳教育を推進する。

〈例〉 3つの「あ」の徹底

あいさつ	→自分だけではなく他の人も元気にするあいさつ
あつまり	→自分だけではなくみんなの時間を大切にする集会活動
あとしまつ	→使ったあとは次に使う人のことを考えた後始末

- ・ 豊かな体験活動と関連した道徳科の充実を図り，子供たちが主体的に「対話からつなげる考え，議論する道徳科」の推進を図る（熊本地区道徳教育研修会会場校）
- ・ 学校・家庭・地域が連携して行う「安城カシミアクラブ」の豊かな体験活動を通して子供たちの情操教育を推進する。（年間12回の体験活動の充実，会員60人の積極的な参加体制）

#### ④ たくましい心と体

- ・ 「いきいき生活チェック表」を活用して児童一人一人の基本的な生活習慣を確立し，心に届く生徒指導の実践を行う。毎月の心の教育の日を充実させ，迅速な情報の共有を図る。（教師が居場所をつくり子供が絆をつくる。）
- ・ う歯治療率100%を目指し，PTAと学校が協力して健康保持に努める。